

TOYO TIRES

2020年12月期(2020年度)第2四半期 決算説明資料

2020年8月7日

TOYO TIRE 株式会社 **75**
ANNIVERSARY

資料の内容

1. 2020年12月期（2020年度）第2四半期業績 実績
2. 2020年12月期（2020年度）通期業績 予想
3. 新型コロナウイルス感染症への対応

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。

2020年12月期第2四半期実績

(百万円)	2020年度 第2四半期 実績	2019年度 第2四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	150,586	178,558	△27,971	△15.7%
営業利益 (利益率)	7,928 (5.3%)	15,344 (8.6%)	△7,415	△48.3%
経常利益	4,379	13,852	△9,473	△68.4%
四半期 純利益	520	7,521	△7,001	△93.1%

2020年 1-3月 実績	対前年 増減額	2020年 4-6月 実績	対前年 増減額
82,094	△8,049	68,492	△19,922
6,936 (8.4%)	△3,238	992 (1.4%)	△4,177
3,737	△5,669	642	△3,803
2,141	△3,494	△1,621	△3,506

1株あたり 配当金	20円	20円	0円	—
--------------	-----	-----	----	---

※四半期純利益:親会社株主に帰属する四半期純利益

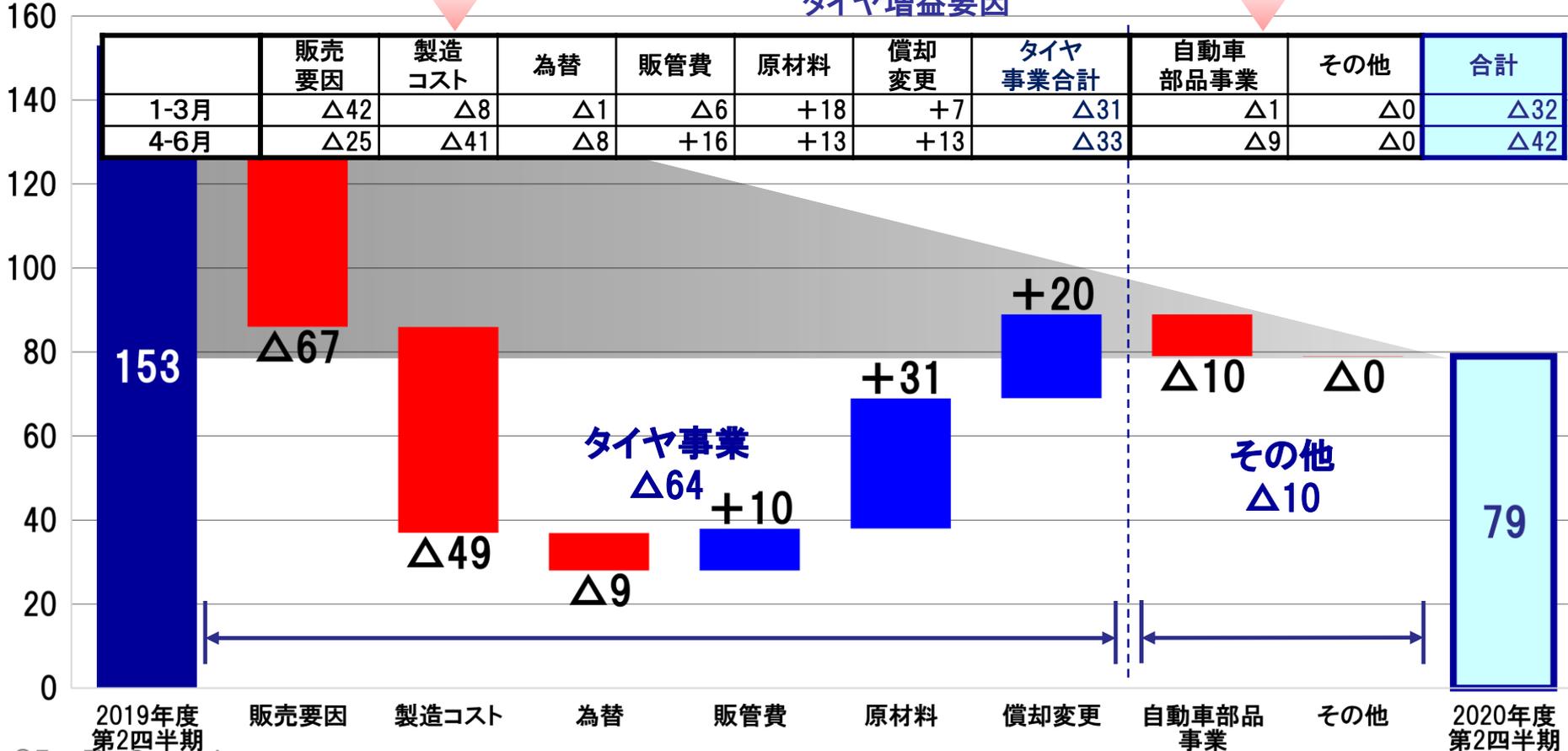
為替 レート	USD	109円	110円	△1円
	EUR	120円	125円	△5円

2020年度通期 為替感応度	
USD	5.5億円/年
EUR	1.0億円/年

2020年12月期第2四半期実績 営業利益増減要因

2019年度 第2四半期実績	増減			2020年度 第2四半期実績
153	△74			79
	△125	+61	△10	

(億円)



2020年12月期第2四半期に対する免震ゴム対策の影響

(ご参考)

(単位:百万円)	第1四半期 (A)	第2四半期 (B)	第2四半期 累計 (A+B)	2015年度 通期累計	2016年度 通期累計	2017年度 通期累計	2018年度 通期累計	2019年度 通期累計
55棟	—	—	—	23,063	17,034	608	8,794	—
99棟	—	—	—	7,386	35,068	12,281	2,360	—
諸費用	590	630	1,220	12,104	10,418	3,156	4,858	3,365
補償費用等	466	64	530	4,119	4,260	2,590	1,516	645
合計	1,056	695	1,751	46,674	66,781	18,637	17,529	4,010

注)55棟:2015年3月13日公表分、99棟:2015年4月21日公表分

項目内訳

第1四半期 (A)	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費は計上なし。 補償費用約5億円、諸費用(主として免震ゴム対策本部人件費等)約6億円を計上。
第2四半期 (B)	55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費は計上なし。 補償費用約1億円、諸費用(主として免震ゴム対策本部人件費等)約6億円を計上。
第3四半期以降	現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある場合には、 対処進行状況等によって追加計上する可能性あり
交換・改修の実績 (6月30日現在)	55棟(G039) : 54棟着工 (うち製品交換の完了 52棟) 99棟(G039以外) : 92棟着工 (うち製品交換の完了 87棟)

●売上高

(百万円)	2020年度 第2四半期 実績	2019年度 第2四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ	134,430	155,634	△21,204	△13.6%
自動車部品	16,130	22,888	△6,758	△29.5%
その他	65	75	△10	△13.3%
調整額	△39	△40	+1	—
合計	150,586	178,558	△27,971	△15.7%

2020年 1-3月 実績	対前年 増減額	2020年 4-6月 実績	対前年 増減額
72,297	△6,461	62,133	△14,742
9,782	△1,586	6,347	△5,172
35	△2	29	△8
△21	+2	△18	—
82,094	△8,049	68,492	△19,922

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

●営業利益

(百万円)	2020年度 第2四半期 実績	2019年度 第2四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ (利益率)	9,733 (7.2%)	16,114 (10.4%)	△6,381	△39.6%
自動車部品 (利益率)	△1,805 (△11.2%)	△756 (△3.3%)	△1,049	—
その他	20	5	+15	400.0%
調整額	△20	△19	0	—
合計	7,928	15,344	△7,415	△48.3%

2020年 1-3月 実績	対前年 増減額	2020年 4-6月 実績	対前年 増減額
7,399 (10.2%)	△3,143	2,333 (3.8%)	△3,238
△474 (△4.8%)	△92	△1,330 (△20.1%)	△957
22	△3	△1	+19
△11	0	△9	△2
6,936	△3,238	992	△4,177

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

●売上高

(百万円)	2020年度 第2四半期 実績	2019年度 第2四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	42,730	51,857	△9,127	△17.6%
北 米	81,493	92,910	△11,416	△12.3%
そ の 他	26,362	33,790	△7,427	△22.0%
消去または全社	—	—	—	—
合 計	150,586	178,558	△27,971	△15.7%

2020年 1-3月 実績	対前年 増減額	2020年 4-6月 実績	対前年 増減額
23,908	△1,875	18,822	△7,251
41,685	△4,392	39,807	△7,024
16,500	△1,781	9,862	△5,646
—	—	—	—
82,094	△8,049	68,492	△19,922

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

●営業利益

(百万円)	2020年度 第2四半期 実績	2019年度 第2四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	2,449	12,630	△10,181	△80.6%
北 米	4,143	2,869	1,274	+44.4%
そ の 他	803	2,316	△1,512	△65.3%
消去または全社	532	△2,471	+3,004	—
合 計	7,928	15,344	△7,415	△48.3%

2020年 1-3月 実績	対前年 増減額	2020年 4-6月 実績	対前年 増減額
5,871	△1,243	△3,421	△8,937
1,500	△985	2,643	+2,259
803	△674	0	△837
△1,238	△334	1,770	+3,338
6,936	△3,238	992	△4,177

2020年12月期通期予想

(百万円)	2020年度 通期 今回予想	2019年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	330,000	377,457	△47,457	△12.6%
営業利益 (利益率)	30,000 (9.1%)	38,447 (10.2%)	△8,447	△22.0%
経常利益	25,400	36,645	△11,245	△30.7%
当期純利益	14,000	24,482	△10,482	△42.8%

2020年 第2四半期 実績	対前年 増減額	2020年 下期 今回予想	対前年 増減額
150,586	△27,971	179,413	△19,485
7,928 (5.3%)	△7,415	22,071 (12.3%)	△1,032
4,379	△9,473	21,020	△1,772
520	△7,001	13,479	△3,481

1株あたり 配当金	45円	45円	0円	—
--------------	-----	-----	----	---

※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

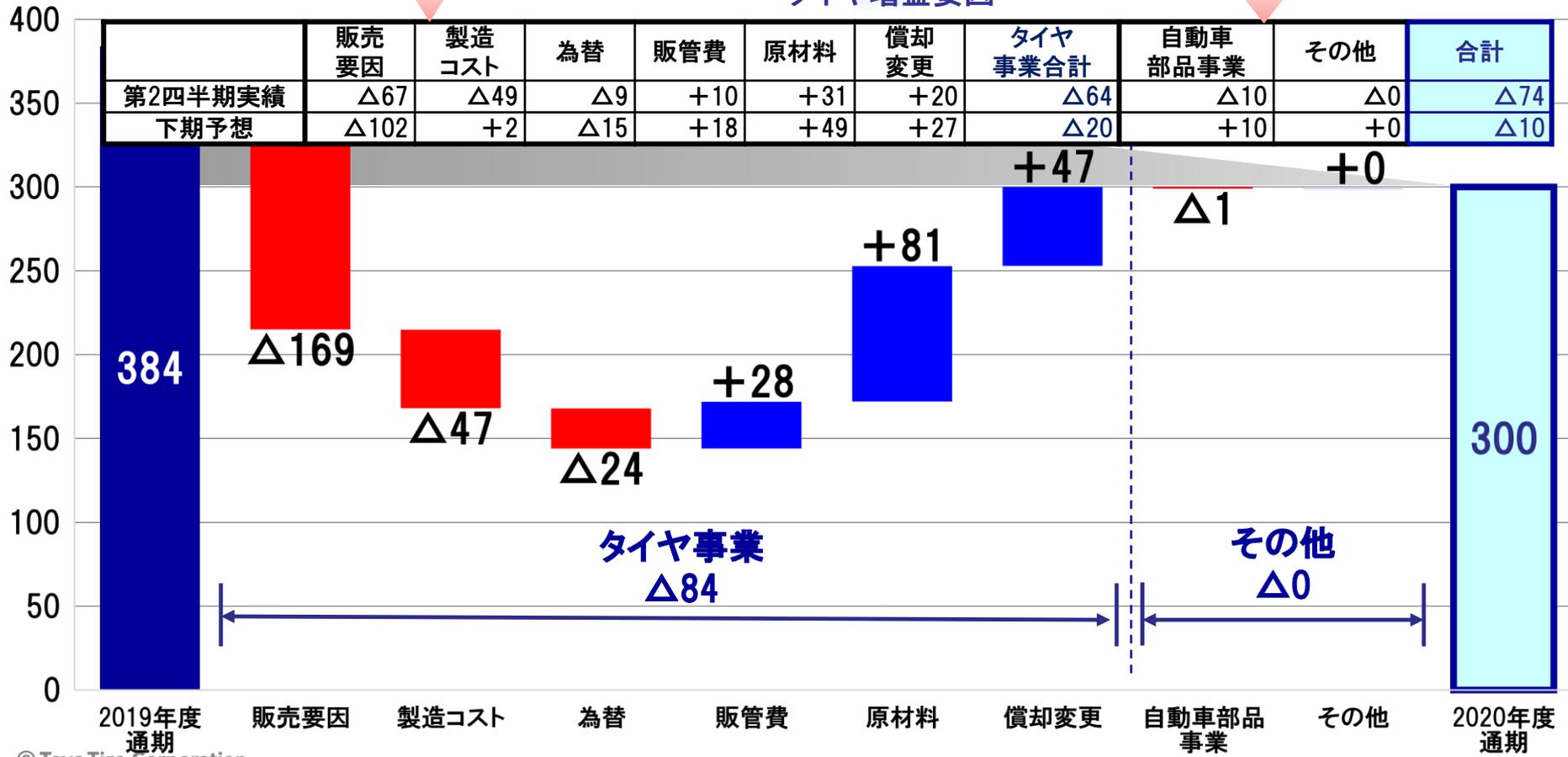
為替 レート	USD	107円	109円	△2円
	EUR	120円	123円	△3円

2020年度通期 為替感応度	
USD	5.5億円/年
EUR	1.0億円/年

2020年12月期通期予想 営業利益増減要因

2019年度 通期実績	増減			2020年度 通期今回予想
384	△84			300
	△240	+156	△0	

(億円)



●売上高

(百万円)	2020年度 通期 今回予想	2019年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ	295,000	332,838	△37,838	△11.4%
自動車部品	34,900	44,551	△9,651	△21.7%
その他	100	146	△46	—
調整額	0	△79	+79	—
合計	330,000	377,457	△47,457	△12.6%

2020年 第2四半期 実績	対前年 増減額	2020年 下期 今回予想	対前年 増減額
134,430	△21,204	160,569	△16,634
16,130	△6,758	18,770	△2,893
65	△10	35	△36
△39	+1	39	+78
150,586	△27,971	179,413	△19,485

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

●営業利益

(百万円)	2020年度 通期 今回予想	2019年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ (利益率)	33,000 (11.2%)	41,393 (12.4%)	△8,393	△20.3%
自動車部品 (利益率)	△3,000 (△8.6%)	△2,919 (△6.6%)	△80	—
その他	0	14	△14	—
調整額	0	△39	+39	—
合計	30,000	38,447	△8,447	△22.0%

2020年 第2四半期 実績	対前年 増減額	2020年 下期 今回予想	対前年 増減額
9,733 (7.2%)	△6,381	23,266 (13.9%)	△2,012
△1,805 (△11.2%)	△1,049	△1,194 (△6.4%)	+969
20	+15	△20	△29
△20	0	20	+39
7,928	△7,415	22,071	△1,032

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

●売上高

(百万円)	2020年度 通期 今回予想	2019年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	99,100	113,473	△14,373	△12.7%
北 米	176,100	197,698	△21,598	△10.9%
そ の 他	54,800	66,286	△11,486	△17.3%
消去または全社	—	—	—	—
合 計	330,000	377,457	△47,457	△12.6%

2020年 第2四半期 実績	対前年 増減額	2020年 下期 今回予想	対前年 増減額
42,730	△9,127	56,369	△5,246
81,493	△11,416	94,606	△10,182
26,362	△7,427	28,437	△4,059
—	—	—	—
150,586	△27,971	179,413	△19,486

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

●営業利益

(百万円)	2020年度 通期 今回予想	2019年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	20,500	27,039	△6,539	△24.2%
北 米	9,400	8,378	+1,022	+12.2%
そ の 他	1,900	3,610	△1,710	△47.4%
消去または全社	△1,800	△580	△1,220	—
合 計	30,000	38,447	△8,447	△22.0%

2020年 第2四半期 実績	対前年 増減額	2020年 下期 今回予想	対前年 増減額
2,449	△10,181	18,051	+3,642
4,143	1,274	5,257	△252
803	△1,512	1,096	△197
532	+3,004	△2,332	△4,223
7,928	△7,415	22,071	△1,032

当社主要マーケットの変化

- 市販用タイヤ需要は、4月をボトムとして北米市場を筆頭に回復基調にて推移。新車用タイヤにおいても完成車メーカーの生産活動再開により、減少幅は縮小傾向
- 新型コロナウイルス感染症の終息は未だ見えていない中での経済活動再開、在宅勤務に代表されるビジネス環境の変化や、公共交通機関から自家用車での移動シフトなど、withコロナを意識した様々な構造変化が起こっている状況
- 米中関係の悪化に伴うアンチダンピング課税の可能性高まる

需要回復局面における取り組み

- 国内外のタイヤ及び自動車部品生産拠点は、すべて通常操業に移行
- 需要に応じた供給をタイムリーに行い、販売機会を適切に捉えていくべく、適正な在庫水準を意識した需給体制を構築
- 各市場における販売量のキャッチアップに加え、主要市場において上市した新商品の着実な販売促進と需要の掘り起こし

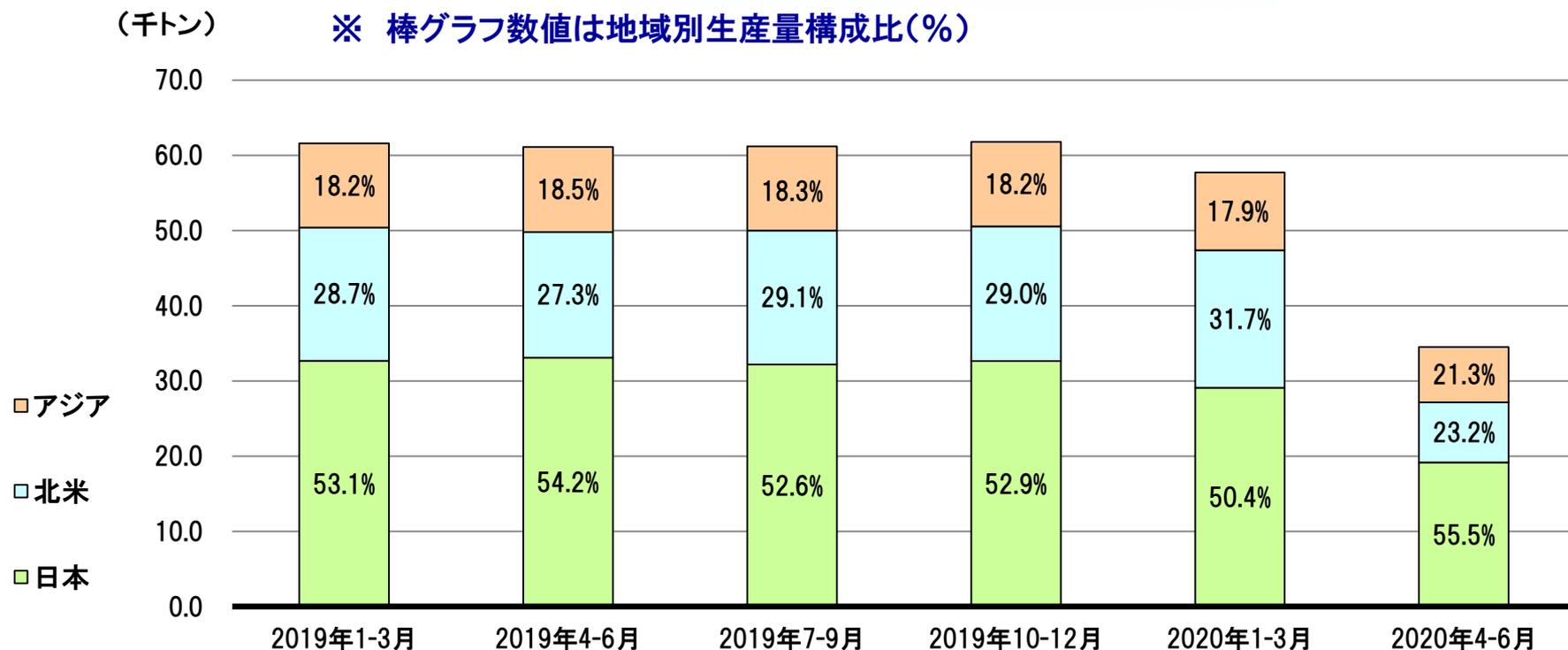


OPEN COUNTRY A/T[®] OBSERVE GIZA

事業継続に向けた取り組み

- 収益構造改革(投資計画の見直し、経費削減・コスト合理化)の着実な実行
- 保守的ケースも見通した財務活動により、適宜設備資金等の必要資金を確保

(ご参考) タイヤ生産量(新ゴム量)の推移



(単位:千トン)	2019年						
	上期			下期			通期
	1-3月 実績	4-6月 実績	1-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	7-12月 実績	
日本	32.7	33.1	65.7	32.2	32.7	64.9	130.6
北米	17.7	16.7	34.4	17.8	17.9	35.7	70.1
アジア	11.2	11.3	22.5	11.2	11.2	22.3	44.9
合計	61.6	61.1	122.7	61.2	61.7	122.9	245.6

2020年		
上期		
1-3月 実績	4-6月 実績	1-6月 実績
29.1	19.2	48.3
18.3	8.0	26.3
10.3	7.4	17.7
57.7	34.5	92.2

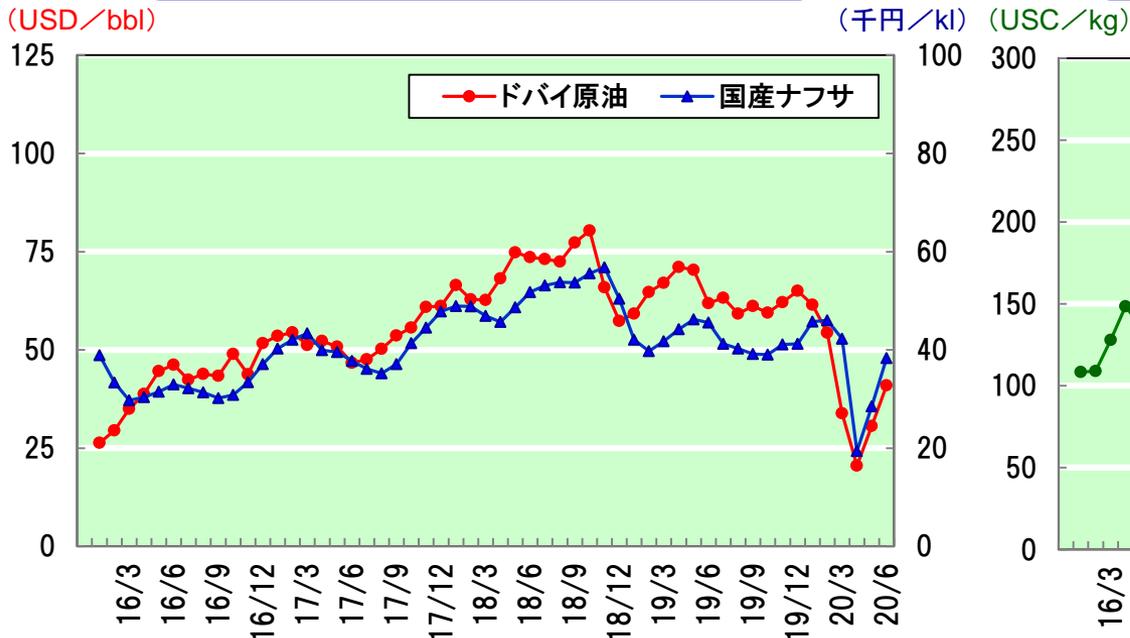
前年同期間を100とした場合の対前年比率

(単位:%)	2019年						
	上期			下期			通期
	1-3月 実績	4-6月 実績	1-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	7-12月 実績	
国内外新車	112	100	106	107	83	94	100
国内市販	105	112	109	126	87	103	105
海外市販	95	93	94	103	98	101	97
うち北米	100	91	95	105	98	102	99
うち欧州	92	84	89	105	91	99	93
うち東南アジア	89	105	97	89	105	96	97
合計	100	97	98	107	93	100	99

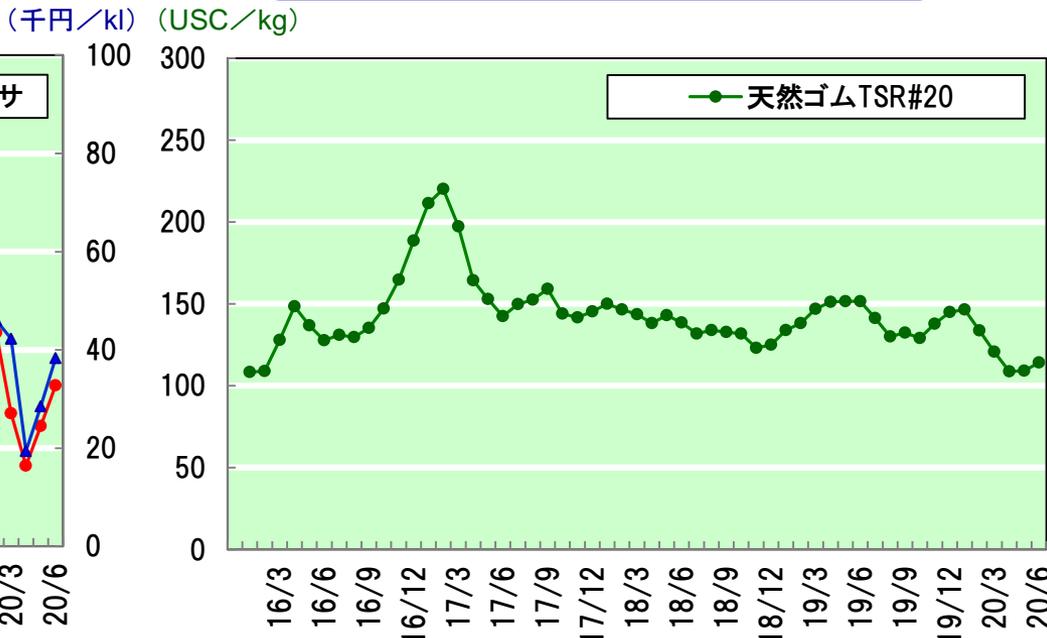
2020年		
上期		
1-3月 実績	4-6月 実績	1-6月 実績
82	38	62
98	89	93
95	82	89
88	98	93
100	70	88
103	61	80
93	75	84

◆価格動向

ドバイ原油、国産ナフサ価格推移



天然ゴムTSR#20価格推移(SICOM)

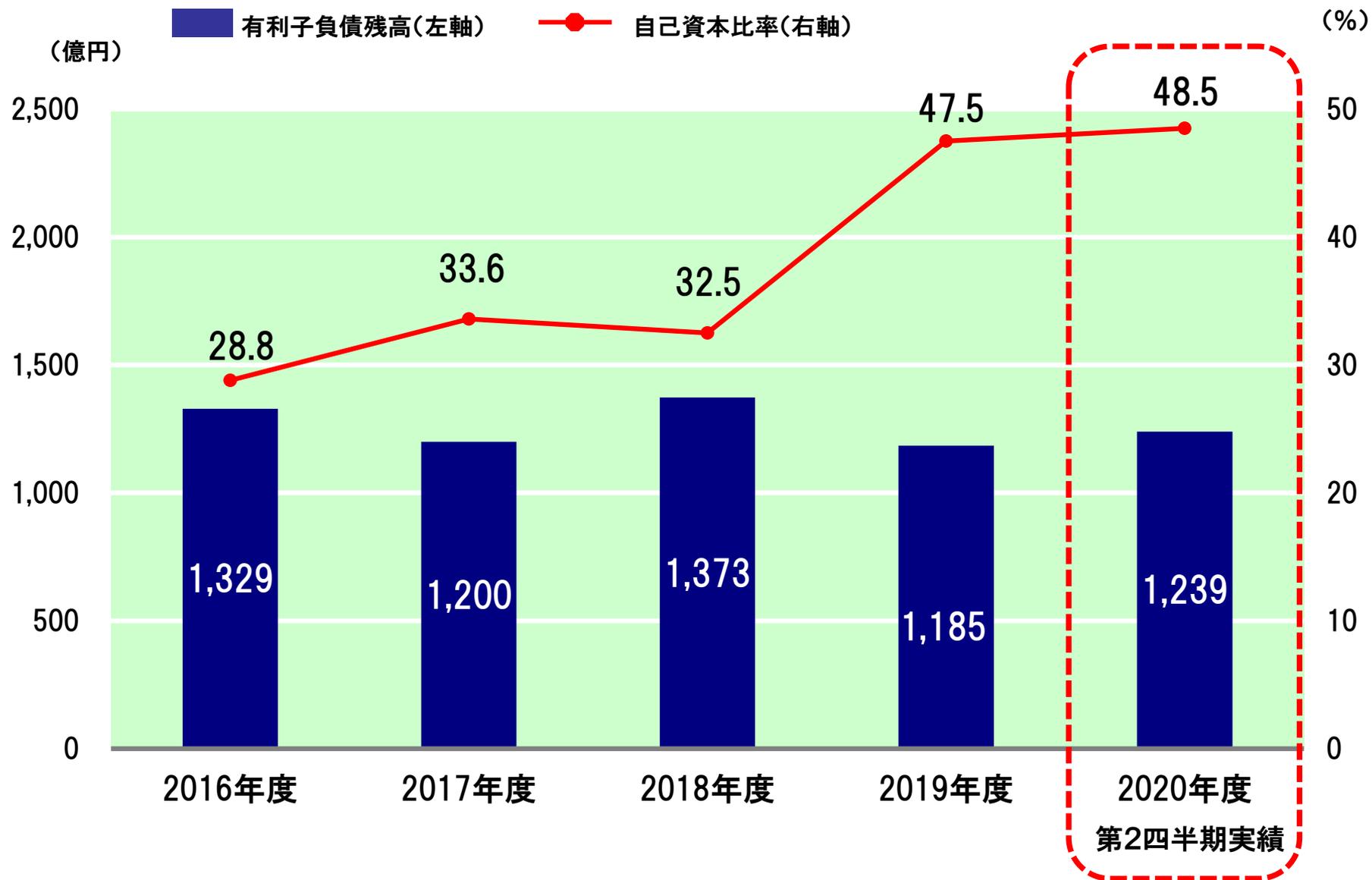


◆価格変動影響額 (営業利益ベース、単位:億円)

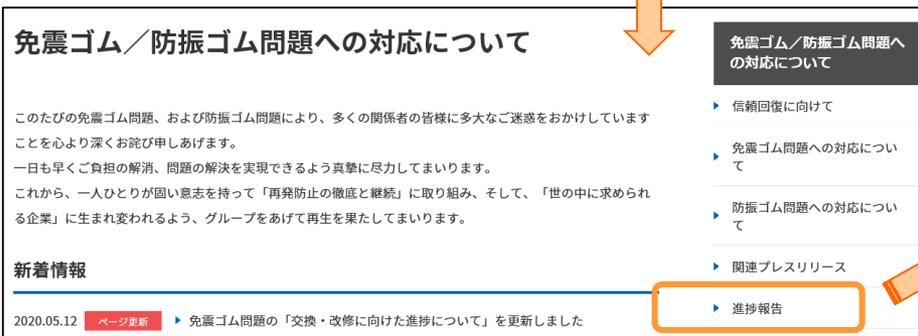
原材料別	2019年						通期 1-12月 実績
	上期			下期			
	1-3月 実績	4-6月 実績	1-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	7-12月 実績	
天然ゴム	+4	+1	+5	△1	△1	△2	+3
石化品	△9	0	△9	+8	+22	+30	+21
その他原材料	△1	+3	+2	+2	+6	+8	+10
合計	△6	+4	△2	+9	+27	+36	+34

2020年		
上期		
1-3月 実績	4-6月 実績	1-6月 実績
△0	+0	+0
+13	+9	+22
+6	+4	+10
+18	+14	+31

(ご参考) 有利子負債残高と自己資本比率の推移



再発防止策の進捗状況につきましては、 四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。



進捗報告

○ 再発防止策の進捗について (2020年5月12日公表分)

－ 品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化

全事業にわたる 全社的監査の継続	CI明石工場の コミュニケーション活動	品質保証・管理体制 の構築
生産拠点における作業・ 監督体制/教育の継続	コンプライアンス 強化徹底	

－ コーポレート基盤の継続的改善、充実

ガバナンスの強化徹底	不正行為の早期探知、 危機管理の実践	社員教育の徹底と 企業風土の抜本的改革
------------	-----------------------	------------------------

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について → 進捗報告
(<https://www.toyotires.co.jp/responsibility/progress/>)

TOYO TIRES